

1, 「旧制度」 = 「()1・レジーム」
 フランス絶対王政--()2王朝 (1589年アンリ4世~1792年ルイ16世)
 第一身分--聖職者 第二身分--貴族、 ()3身分--市民・農民
 18世紀フランス2653万人の内 135000人 400000人 26000000人
 人口の2%・種々の特権 人口の98%・さまざまな負担

1615年以後()4の招集を停止---ルイ13世
 ルイ14世(1643~1715)---インド、北アメリカに植民地・[]5宮殿建設・侵略戦争
 →そのための重税 → 当時人口の10人に1人、約200万人がホームレスとも。
 ルイ15世(1715~74)---7年戦争(1756~63)など→多くの植民地を失う。豪華な宮廷生活。
 →18世紀後半、国家財政()6

2, フランス革命(1789年~)
 フランス()7思想 アメリカ合衆国の独立 →国民主権、自由、平等を求める動き
 ルイ16世(位1774~92)

「財務長官にテュルゴー❖a(任74~76)、()8❖b(任76~81,88~90)を起用
 →財政改革---特権身分への()9を検討
 ↳アメリカ独立戦争(1775~)への支援→財政赤字の悪化
 ❖a---重農主義経済学者。ギルドの廃止、穀物取引の自由化を行うが、特権身分の反対で辞任。
 ❖b---第三身分の銀行家。スイス人。王妃[]10❖cに質素儉約を進言して81年罷免。1788年再就任を求められ、
 ()11開催を条件に長官就任。89年7月解任されるがバスティーユ事件後再任。90年9月まで。
 ❖c---1755~93 オーストリアのマリア=テレジアの11女。1770年ルイと結婚。74年フランス王妃。
 1786年 英仏通商条約 → イギリス商品の大量流入・国内産業の不振・凶作→各地で騒乱
 1788年 1615年以来開かなかった三部会召集を布告。
 →「第三身分」---議会政治と()12制定を求める。
 ()13❖d(1748~1836)『第三身分とは何か』を発表⇒「[]14である」。
 ❖d---第三身分出身、聖職者、革命指導者。総裁政府総裁。臨時執政。王政復古により追放。

1789年
 5月5日 「三部会」開会(ヴェルサイユ宮殿)→議決方法をめぐり紛糾
 6月17日 第三身分が「()15議会」を発足させる。19日第一身分が合流。政府は議場閉鎖。
 6月20日 「()16の誓い」→第三身分議員が球戯場で憲法制定まで解散しないことを誓う。
 7月9日 「()17制定国民議会」と名称変更
 7月14日 パリ市民[]18監獄(要塞)=専制の象徴=襲撃→地方でも反乱→「仏革命記念日」
 8月4日 「()19的特権の廃止」を宣言
 →聖職者・貴族の封建特権---領主裁判権・租税免除などの()20廃止・年貢徴収権の有償廃止
 農奴身分、教会の()21税の廃止

8月26日「フランス()22=人(homme)及び市民(citoyen)の権利宣言」公布。起草()23❖e(1757~1834)
 「人は生まれながらにして自由、平等。全ての主権は国民にある。人の自然権には王政への抵抗も含まれる」
 ⇒第1条で自由と平等、第2条で天賦()24、第3条で()25主権、第11条で思想・言論の自由を、第
 17条で()26の不可侵を唱える。 (homme=男性 citoyen=男性市民)
 ❖e---貴族。19歳でアメリカ独立戦争に義勇兵として参加。立憲君主制を支持して革命に参加。バスティーユ襲撃後の国民衛
 兵司令官。シャン=ド=マルスの虐殺後、司令官を辞任。革命戦争で司令官に復帰。王権の停止後、オーストリアに亡
 命。のちアメリカに渡り歓迎される。
 →ルイ16世、これらの宣言の承認を拒否・不作による食糧難
 10月5日 []27行進❖f

❖f---女性を中心としたパリの民衆=()28がヴェルサイユに押し掛け国王と議会をパリ市内の
 テュイルリー宮殿に移す→ルイ16世は人権宣言などを承認

【国民議会】
 主導--- 「()29❖g(1749~91)、ラ=ファイエットら自由主義的な貴族
 ↳立憲王政派---貴族と右派富裕市民=()30=を代表
 →「ギルドの廃止・商品取引の自由
 ↳財政再建のためカトリック教会財産の()31=没収❖h などの改革を推進
 ❖g---貴族でありながら第三部に属し革命の初期を指導し、立憲君主制を主張した。91年病死。
 ❖h---貴族・聖職者だったタレーラン(1754~1838)による。かれは90年国民議会議長、[]32法提案。
 その後総裁政府、統領政府の外相、ナポレオン時代と王政復古期も外相を務めた。

1791年
 6月 ()33逃亡事件 ルイ16世一家が逃亡を企て、北東部ヴァレンヌで発見、連れ戻される。
 7月 シャン=ド=マルス(練兵場)の()34 議会とラファイエットが国王廃位の署名を行う共和派
 の集会を国民衛兵に発砲させ弾圧=死者10数人~50人
 8月21日 ()35宣言 王妃の兄神聖ローマ皇帝レオポルド2世(位1790~92)とプロイセン王
 フリードリヒ・ヴィルヘルム2世が「必要な武力を用いる」と革命への干渉を唱える。
 9月3日 憲法制定→「()36憲法」
 一院制=立法議会・()37選挙→立憲()38を樹立

【カリブ海のサン=ドマング】 ハイチ革命(1791~1804)→別プリント
 ↳イスパニョーラ島=仏領「サン=ドマング」、スペイン領「サン=ドミンゴ」=の西3分の1
 ↳クリオーリョ=現地生まれの白人=による大農園→コーヒー、[]39生産
 →人口の90%が黒人奴隷。全ヨーロッパの需要の半分以上を供給→フランスに多大な利益

1791年8月 仏領サンドマングで奴隷反乱→スペイン・イギリスの軍事介入
 1792年4月 立法議会は有色自由人の()40を決議→黒人奴隷反乱は拡大



ルイ16世



マリー=アントワネット



ネッケル



ラファイエット



テニスコートの誓い



サンキュロット



ヴァスティーユ監獄の襲撃

- ・憲法(2) ・課税 ・第三 ・無償 ・人権 ・制限 ・虐殺 ・国民 ・破綻 ・平等 ・啓蒙 ・封建 ・君主政
- ・国有化 ・球戯場 ・所有権 ・1791年 ・三部会(2) ・十分の一 ・人権宣言 ・ネッケル ・ミラボー ・ブルボン
- ・シェイエス ・アンシャン ・ピルニッツ ・ヴァレンヌ ・ラ=ファイエット ・サン=キュロット ・ブルジョワジー